

ピースボート災害ボランティアセンター(PBV)

2016年 台風10号岩手県岩泉町 緊急支援 活動報告書

実施期間 2016年 9月14日 - 10月31日
活動場所 岩手県岩泉町

[オフィシャルサイト] <http://pbv.or.jp/>

[英語サイト / English site] <http://pbv.or.jp/en/>

2016年 台風10号 / 被害状況

8月30日に発生した台風10号は、気象庁が統計を取り始めて以来東北地方に初めて上陸し、岩手県や北海道を中心に甚大な被害を発生させました。岩手県岩泉町では総雨量が138ミリを超え、統計開始以来の大雨となり、経験が少ない地域では、山間に点在する集落が河川の氾濫により甚大な被害を受けました。

岩手県内の主な被害状況

人的被害	死者	20名
	行方不明者	2名
	孤立(最大)	1,100名 ※車両等が進入できない集落の住民数
住家被害	全壊	379棟
	半壊	2,094棟
	一部損壊	453棟
	床上浸水	170棟
	床下浸水	932棟
避難数(最大)	避難者数	2,039名
	避難所数	95ヶ所



・内閣府「平成28年台風10号による被害状況について」より(2016年11月30日時点)
 ・岩手県より発表(2017年2月17日時点)



プロジェクトの概要・実績

PBVでは、岩泉町社会福祉協議会(以下、社協)からの要請をもとに、岩泉町災害ボランティアセンター(以下、災害VC)小川サテライトの運営サポートを行いました。また、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)からの要請を受け、いわてNPO災害支援ネットワークが実施する、NPO・社協・行政が連携・調整を行う運営事務局の立ち上げサポートを行い、被災した住民への支援を実施しました。



【活動期間】 第1回 9月14日 - 9月19日
 第2回 10月19日 - 10月31日

【活動場所・内容】

岩泉町災害VC 小川サテライト 運営サポート
 (災害VC受付、マッチング、オリエンテーション、送り出し、活動支援、ニーズ調査、情報処理、書類作成等)

【スタッフおよびボランティア派遣人数】 延べ 39人

【ボランティアコーディネーター人数】 延べ 619人

【団体コーディネーター数】 24団体

【活動件数】 74件

【ニーズ内容】

土砂出し(床上、床下、住宅周り、生活道路)、床下・壁消毒、家財移動・搬出、瓦礫撤去等

活動カレンダー

8月	30日	台風10号が発生。岩手県や北海道を中心に甚大な被害を及ぼした
9月	1日	岩泉町災害VC 開設
	14日	岩手県の中間支援組織より要請を受け、JVOADへスタッフを派遣 いわてNPO災害支援ネットワークの運営事務局の立ち上げ、運営サポート開始
	15日	第2回 岩泉連絡会議へ参加
	16日 - 19日	岩泉町役場、岩手県社会福祉協議会、NPOなど各関係機関と支援調整を実施
10月	19日	岩泉町社協からの要請を受け、スタッフおよびボランティアを派遣
	20日	台風10号による岩泉町全体の被害状況の確認、現地ニーズ調査
	21日 - 31日	災害VC 小川サテライトの運営サポートを開始
	25日	各サテライトを10月31日で閉所し、岩泉町災害VC(本部)へ集約することを決定
	26日	仮設住宅の抽選が開始
	29日	災害VC 小川サテライト閉所式を実施 (町長挨拶、地域住民による炊き出し、岩泉町立中沢小学校の児童による吹奏楽 など)
	31日	岩泉町災害VC 小川サテライト閉所、岩泉町災害VC(本部)へ統合
11月	1日	業務引継ぎ、PBV現地支援活動 終了

ご協力いただいた企業・団体 (順不同・略称表記)

岩泉町役場／岩手県社会福祉協議会／岩泉町災害ボランティアセンター／岩泉町災害ボランティアセンター 小川サテライト／
いわてNPO災害支援ネットワーク／全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)／OPEN JAPAN／ソフトバンク株式会社

◆ 寄付・助成団体

東京海上日動火災保険株式会社「Share Happiness倶楽部」／震災がつなぐ全国ネットワーク(日本財団)

その他、サポート会員の皆様からの会費を活用させていただきました。個人情報観点から、お名前のご紹介は控えさせていただきますが、お一人おひとりの皆様に心より感謝申し上げます。

収支報告

収入	企業寄付	245,562
	助成金など	408,929
	合計	¥654,491

支出	車両費	117,180
	旅費、交通費	257,493
	通信費	1,490
	消耗品・備品費	6,274
	人件費	272,054
	合計	¥654,491

※企業寄付については、東京海上日動火災保険株式会社「Share Happiness倶楽部」様から毎年いただいている寄付金を「PBV緊急初動対応基金」として積み立て活用させて頂いております。

活動を振り返って

台風10号 岩手県岩泉町
現地コーディネーター 鈴木 省一



台風10号による被害が発生した際、私たちは熊本地震の被害を受けた西原村での支援活動を継続している最中でした。岩泉町の被害状況の報告を受けた当初は、岩手県は東日本大震災の経験があり県内で活動を続ける団体が多くあることから、災害VC運営はスムーズだろうと考えていました。

しかし、実際にはそう簡単ではありませんでした。特に岩手県岩泉町は東京23区よりも広い面積を有し、その被災エリアは点在していました。地元社協職員や岩手県内の他市町村からの応援職員だけでは広域への現地ニーズ調査や集まってくるボランティアへの対応などが難しく、その状況は発災から1ヶ月以上経っても続いていました。

PBVでは岩泉町災害VC小川サテライトの運営サポートから閉所、そして災害VC本部への集約を行うという住民にとっても運営側にとっても困難な時期にお手伝いをさせていただきました。その中で一番驚いたのは周辺市町村から毎日のように運行されていたボランティアバスの多さでした。交通の便がとても悪く、ボランティアが集まらないのではないかと懸念されていた岩泉町にとっては、とても大きな力になっていたと思います。そうした動きは東日本大震災や2013年の水害などの経験が活かされたのだと思います。今後起こるであろうと言われる大災害に備えるには、この経験をどのように共有していくのが大きな課題の一つだと感じました。

最後に、温かく私たちを受け入れてくださった岩泉町の皆さんをはじめ、活動を支えていただいた方々にこの場を借りて心より御礼申し上げます。

「サポート会員」募集中

継続的な支援で、PBVの運営を支えてください。

PBVでは、国内外の自然災害における支援活動、災害ボランティアの人材育成プログラムを実施するために、運営に対する継続的な支援を必要としています。皆様からの会費は、PBVの運営を財政的に支える基盤になります。

●サポート会員(1年間)

個人	一口	5,000円
団体	一口	100,000円

※二口以上のご協力も可能です。

●会員特典

- ・ニュースレター「START」と年次報告書をお送りします。
- ・各種講演会・イベントを優先してご案内いたします。
- ・会員同士の集いの場にご参加いただけます。

●ご協力方法の詳細は

<http://pbv.or.jp/support-member.html>

「ピースボート災害ボランティアセンター(PBV)」

PBVは、東日本大震災への継続的かつ大規模な支援活動を展開するため、2011年4月に、国際NGO「ピースボート」が設立した一般社団法人です。ピースボートが1983年より行ってきた国際交流の船旅、そして1995年の阪神淡路大震災以降の国内外の災害支援のノウハウとネットワークを活かし活動しています。

現在は、緊急時の災害対応を軸に、災害ボランティアの育成や普及活動を実施しています。また、宮城県石巻市では復興支援に留まらない、地域課題にも積極的に取り組んでいます。

ホームページ <http://pbv.or.jp/>

2016年 台風10号岩手県岩泉町 緊急支援活動報告書

発行：一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター
編集：辛嶋友香里、上島安裕、鈴木省一
発行日：2016年3月31日

この刊行物に関するお問い合わせは下記までお願いします。
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-2F-A
TEL: 03-3363-7967 FAX: 03-3362-6073
E-MAIL: kyuen@pbv.or.jp
URL: <http://pbv.or.jp/>